

みんなの手で 守ろう地球を 守ろう都留を

環境の 現状を 考える

環境はすべての生物の共存の基盤となっています。私たちの身近なところでも自動車の排出ガスなどによる大気汚染や生活排水による水質汚濁など様々な問題が起きています。環境問題の進行は、徐々に深く進行し、問題となったときには既に手遅れとなってしまうことがあります。日常生活のなかで、何気なく行われている行為を改善することによっても、問題の解決につながることはあるのではないのでしょうか。ここでは、代表的な環境問題について触れてみましょう。

地球温暖化

ひとことで説明すると、地球の温度が上昇するということで今から百年後には、さらに二度ぐらいう上がると予想されています。さて、地球の温度がどんどん上がってくると、どうなるのでしょうか。海面が上昇し、ゼロメートル地帯などでは高波被害が頻繁に発生したり、異常気象による洪水や渇水がおり、農林業にも大きな影響が出てくるといわれています。私たちが病気で熱を出すのと同じように、地球も重い病気にかかってしまうのです。温暖化の原因は、私たちの生活から排出される二酸化炭素などの温室効果ガスの増加にあります。多量の石油などを消費することによって、空気中にこのようなガスが増えてきて地球の温度を上げる原因となっています。

オゾン層の破壊

高度一〇〜一五〇キロメートルの成層圏には、人体に有害な紫外線を吸収するオゾン層が広がっています。この大切なオゾン層が破壊されてきています。オゾン層が破壊されると、有害な紫外線が地球上に多く降り注ぐようになるため、皮膚ガンや白内障の増加、生態系への影響などが心配されています。

オゾン層破壊の代表的な犯人は、フロンといわれています。フロンは、主に冷蔵庫、エアコン、缶スプレーなどに使われているガスのことです。すでに、フロンの使用は認められていませんが、冷蔵庫などの現在使用しているものの多くに含まれています。このため、フロンの生産中止、回収や再利用、フロンの使用しない代替フロン仕様などの対策をとっています。フロンの回収にあたっては、当市では、大月都留広域事務組合に回収機を置いて、月平均、冷蔵庫百三十台、エアコン十台前後のフロンを回収しています。

酸性雨

大気汚染により、汚染物質を取り込んで生じる酸性度の高い雨のことです。特に二酸化窒素や浮遊粒子状物質は、呼吸器に好ましくない影響を与えることで、健康への影響が懸念されています。

フロンガスによるオゾン層破壊 → 紫外線による生物（人間も含む）への悪影響



私たちの生活の中で (廃棄物とリサイクル)

私たちの生活と環境とのかかわりの中で、ものの利用について考えてみましょう。

ふりかえると、大量生産、大量消費、大量廃棄型になり、それに伴い環境汚染の問題が生じています。私たちの生活は豊かになり、限りある資源を使いきる勢いです。物質の豊かさに恵まれた現在では、一家にカラーテレビ、エアコン、自動車がいかにある家も少なくありません。これらが、大量にごみとして廃棄されるため排出量の増大、廃棄物の多様化、最終処分場の確保の問題が起こってきます。

このような廃棄物の大量発生に伴って、資源の採取から廃棄されるまでの各段階での環境への負荷が高まっていることを考えると、生活の中でもごみのリサイクルを行う必要がでてきます。リサイクルの方法には、大きく分けて二とおりあります。「マテリアルリサイクル」と「サーマルリサイクル」です。前者は、資源ごみ分別収集などによって、回収されたもので、そのまま利用できない物を原材料として利用するリサイクルです。天然資源から原材料を生産する場合と比べて、大幅に資源やエネルギーの消費を抑えることができます。